

## 第415回 東京大学図書行政商議会議事要旨

日 時 平成26年7月24日(木) 10:00～12:05

場 所 総合図書館3階 大会議室

出席者 <委員長> 古田元夫 <副委員長> 石田英敬、畑中研一 <委員> 高田裕成、  
高戸 毅、高井まどか、大津 透、土居 守、清水謙多郎、谷本雅之、橋本毅彦、  
小国喜弘、八代田英樹(代)、新井仁之、斎藤 馨、今井 浩、橋元良明、山梨裕司、  
板倉聖哲、玄田有史、高橋慎一郎(代)、泉奈津子(代)、川崎雅裕、常次宏一、佐藤正樹、  
菅原 琢(代)

※(代)は代理出席者

<オブザーバー> 酒井哲哉、雨宮慶幸、堀 浩一、葛西康德、中川裕志(代)、高橋典幸、  
渡邊 聡

欠席者 吉田真吾

列席者 関川雅彦、木下 聡、熊渕智行、岡部幸祐、市村櫻子、増田晃一、風巻利夫、渡辺一兄、  
吉田左貴子、三浦圭子、森田美由紀、藤本蒂子、合田美恵子、野口真理子、濱田すみ子、  
池浦文彦、本多 玄、守屋文葉、高橋 隆、村上晋司、坪 陽子、原 香寿子、  
近藤真智子

### 配付資料

1. 第414回東京大学図書行政商議会議事要旨
2. 東京大学附属図書館長選考規則
3. 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備の第三期の方針作成に向けて(案)
- 4-1. 広場外観イメージ
- 4-2. 企画展示「知」が創る「平和」
- 4-3. 仮設建築工事工程表
- 4-4. 東京大学(本郷)アカデミックコモンズ(仮称)新営工事 工程表
5. 東京大学における知識基盤の整備のあり方について(報告書)
- 6-1. 平成26年度第1回図書行政商議会附属図書館サービス特別委員会議事次第
- 6-2. 平成26年度第2回図書行政商議会附属図書館サービス特別委員会議事次第
- 6-3. 今後の全学共通経費による基盤的学術雑誌等整備について
7. 平成26年度第1回図書行政商議会将来計画特別委員会議事次第
8. 平成26年度第1回東京大学柏図書館運営委員会議事次第
9. 第31回駒場図書館運営委員会議事次第
10. 声明文

### <開 会>

- ・古田委員長の主宰のもとに開会した。
- ・議事に先立ち、附属図書館担当の高橋典幸総長補佐、渡邊聡総長補佐が今回より出席する旨報告があった。

## <議 事>

### 1. 前回議事要旨の確定

古田委員長から、第414回議事要旨を資料1のとおり確定し、ホームページに公開した旨報告があった。

### 2. 協議事項

#### (1) 附属図書館長選考について

古田委員長から、資料2にもとづき、次期図書館長の選考の手続きを開始したい旨発言があり、総長に附属図書館長候補者推薦委員会設置の上申をすることが提案され、了承された。

また、総長が委員会設置を了解した後、次回あるいは次々回の図書行政商議会において委員の選出を行う旨の発言があった。

#### (2) 全学共通経費 第3期の方針について

古田委員長から、資料3にもとづき、第2期全学共通経費の仕組みと第3期全学共通経費を確保するための見通しについての説明があった。

熊渕情報管理課長から、サービス特別委員会で配付された資料6-3にもとづき、今後の全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備について説明があり、その中で平成28～32年度の5年分について、平成25年度契約資料を維持する場合は、17.3億円／年の予算額が必要となり、現行の11.5億円／年の予算額で購入できるのは、平成25年度契約資料の約6割程度であることが示された。

畑中サービス特別委員長から、東京大学が必要とする学術情報は何かを精査するために、アンケート調査を行う提案があり、9月開催の図書行政商議会です承後、実施したいとの発言があった。これを受けて、委員からは、調査の時期を早めるべきではないか、部局で調査の説明をする際に必要となる情報を資料としてまとめてほしい等の意見があった。審議の結果、アンケート調査については、日程等を調整した上で実施することが了承された。

古田委員長から、調査の具体案については、サービス特別委員会で再度審議し、商議会委員へ送付することとし、調査結果を踏まえた提案を11月と1月の商議会で審議し、第3期の方針のとりまとめとして、科所長会議、役員懇談会等に図書館からの提案として提出したいとの発言があった。

### 3. 報告事項

#### (1) 新図書館構想の進捗について

石田副委員長から、資料4-1にもとづき、予想図の状態になることを目指して、図書館前広場の工事が開始されたとの報告があった。

岡部情報サービス課長から、資料4-3及び資料4-4にもとづき、仮設建築の工事日程とそれに伴う駐輪場の変更、アカデミックコモンズ（仮称）工事のスケジュールと工事内容について説明があった。

#### (2) 東京大学における知的基盤整備に関する懇談会について

石田副委員長から、資料5にもとづき、総長指示により設置された「東京大学における知的基盤整備に関する懇談会」（仮称）において、4回に亘る報告、検討の会及びメール等により、検討を重ね

た結果、別刷の報告書を作成し、7月4日開催の科所長会議で報告した旨の報告があった。

(3) サービス特別委員会報告について

畑中サービス特別委員長から、資料6-1及び資料6-2にもとづき、第1回サービス特別委員会では、全学遡及入力計画の進捗状況報告があったこと、今後の全学共通経費について検討したこと、第2回サービス特別委員会では、昨年度採択された大型コレクション3件の購入報告があったこと、電子ジャーナル等出版社から Google への IP アドレス情報提供について協議し、今後は個別には協議せずに許可する方針としたこと、について報告があった。

(4) 将来計画特別委員会報告について

石田将来計画特別委員長から、資料7にもとづき、全学的に進められようとしている知的基盤整備や新図書館計画の進捗に歩調を合わせつつ、附属図書館の将来計画について、今後、インテンシブに議論していくとの報告があった。

(5) 柏図書館運営委員会報告について

雨宮柏図書館長から、資料8にもとづき、①平成26年度柏図書館開館10周年記念イベント企画の進捗状況、②平成26年度柏図書館事業計画の進捗（検討）状況、③平成26年度部局図書館・室からの資料移管予定として、14の図書館・室から9,200冊の移管を予定していること、④東京大学柏地区図書館・室合同「理系女子支援企画」の企画内容の報告、⑤「平賀譲デジタルアーカイブ」がソフトウェアの脆弱性で情報基盤センターから指摘を受け、一時公開を停止したこと、⑥柏図書館資料の館外貸出として、今後、総合図書館から預かる予定の製本雑誌は、原則として、柏図書館の利用規定に従って運用する方向で検討していること、⑦柏図書館の将来計画として、柏地区整備WGの中で、柏図書館の将来計画について協議を始めたこと、等について報告があった。

(6) 駒場図書館運営委員会報告について

酒井駒場図書館長から、資料9にもとづき、①平成25年度駒場図書館講習会実施報告として、講習会等を合計74回実施し、1,383人が参加したこと、②平成26年度駒場図書館利用案内実施状況として、検索実習、図書館利用案内等を合計57回実施し、1,223人が参加したこと、③平成26年度駒場図書館事業計画として、重点項目の総合的教育改革への対応、国際化対応、附属図書館外部評価の計画が承認されたこと、④夏季及び今年度秋季以降の飲料利用として、館内における夏季の飲料利用については、昨年度同様、熱中症予防のため、5月23日（金）～9月30日（火）の期間に各階閲覧席（PC用の席を除く）で蓋付きの容器に入った飲料を飲むことを認め、秋以降も飲料利用許可を試行することが承認されたこと、⑤駒場図書館図書選定特別委員会委員として、駒場図書館の学生用図書選定のため、18名の図書選定特別委員会委員が承認され、委員長が選出されたこと、について報告があった。

(7) IARU 図書館長会議報告について

石田副委員長から、IARU の図書館長会議について報告があり、加盟する大学においては、図書館の現代化、そして、教育と研究の中心に図書館を据え直す動きが加速しており、東京大学の新図書館計画もそのような動きに合わせた整備が必要と思われるとの発言があった。

#### (8) その他

##### ①学術情報資料に対する消費税軽減税率適用要望の声明

関川事務部長から、資料10にもとづき、6月に開催された国立大学図書館協会総会において、消費税増税に際して声明を出すべきとの決議がされ、7月10日付で本声明文のプレスリリース等を行い、今後は、関連する団体や議員に説明・陳情を行う予定であるとの報告があった。

##### ②台湾国家図書館からの寄贈図書

古田委員長から、台湾国家図書館よりタイワン・リソースセンター・フォー・チャイニーズ・スタディーズというコーナー設置の提案があり、新図書館構想のアジア研究図書館部会に諮った結果、アジア研究図書館完成の折には、本コーナーを設置することが了承されたが、アジア研究図書館が完成するのは数年先であり、台湾側からは今年中にスタートさせたいという提案であったため、駒場図書館の一角に、本コーナーを仮設置する準備を進めているとの報告があった。

#### 4. その他

古田委員長から次回の図書行政商議会は9月26日を予定している旨の発言があった。

〈閉 会〉